

企業等の連携授業

医療専門課程 くすり総合学科

授業科目名	登録販売者実習Ⅰ・Ⅱ	授業時数	480時間
実施期間	令和4年10月～令和5年8月		
実習・演習等の目的及び概要	登録販売者として、ドラッグストアで勤務するために必要とされる「医薬品に共通する特性と基本的な知識」「人体の働きと医薬品」「主な医薬品とその作用」「薬事関係法規・制度」「医薬品の適正使用・安全対策」の知識・技術を、現場で実践し、理解を深める。		
企業等との連携の基本方針	学生が登録販売者実習を通じて「実学」を学び、卒業後、薬業界に長く貢献できる人材を育成することを方針としている。そのために必要とされる知識・技術・マインドを学生が身につけることができるように、また必要な支援・指導を学生が受けることができるように、学生、企業、店舗、学校が共通の認識を持って、この登録販売者実習に臨む環境をつくる。		
企業等との連携	学科の担当教員、企業が実施前に打ち合わせを行い、実習時期、内容を確定する。実習中については、担当教員が毎月の報告書の確認および企業を訪問し、店長等の実習指導者から学生の実習状況のヒアリングを行う。実習終了後、実習指導者より学生の実習態度、実務能力などを踏まえた3段階の評価をいただく。		
学修成果の評価方法	毎月、本人・実習担当者による実習月間報告・評価表(3段階評価)を提出することにより、実習中の態度・意欲・出席状況を実習状況を確認する。また、60品目の医薬品レポートを完成させる。最終報告・評価表も提出し、実習の振り返りを行う。これらを総合的に評価し、4段階評価を行う。		

実習・演習等計画

日程	実習・演習等の内容	実施場所
実習開始4ヶ月前	【現場見学】 自分の目指す方向性を決めるための現場見学を行う。	校内
実習開始3ヶ月前	【専攻決定面談】 自分の目指す方向性を決めることで、現場実習への意欲を高める。	校内
実習開始2ヶ月前	【実習先希望面談】 希望先の企業および店舗を確認。自身の考える将来像に近い現場で実習が行えるか面談を通して確認する。	校内
実習開始2ヶ月前～	【実習先面接】 希望先の企業面接を行うことにより、実習先を決定させる。	校内
実習開始2週間前	【実習前教育】 現場で必要とされる身構え、気構え、心構えを身につける。また、上級生とのグループワークにより実際の実習のイメージを膨らませる。	校内
実習期間	実習マニュアルに沿って、実習を行う。 また、医薬品レポートの作成。 毎月1回の実習月間報告・評価表を提出する。	実習施設
実習期間中の毎週木曜日	担任授業で、実習の報告を行う。	校内
実習終了後1週間以内	【実習後教育】 実習の振り返り学習。個人ワーク・グループワークを中心に、気付き、体験を知恵にしていく。	校内
連携する企業等	株式会社クリエイトエス・ディー、株式会社コクミン、スギホールディングス株式会社、株式会社マツキヨココカラ&カンパニー(株式会社ココカラファイングループ、株式会社ぱぱす、株式会社マツモトキヨシ)	